

新病院長からのごあいさつ



え どう たね なお
病院長 江 藤 胤 尚

宮崎医科大学は10月1日より宮崎大学と統合し、新しい宮崎大学として生まれ変わりました。その結果、長年みなさまに親しんでいただきました宮崎医科大学附属病院も、宮崎大学医学部附属病院と名前が変わりました。そして、住吉前病院長が新しい大学の学長に就任致しましたので、その後任の病院長に私が就任いたしました。

病院の名称は変わりましたが、診療の実態が突然変わるわけではありません。しかし、私たちは、これを良い機会ととらえ、「病院のより良いあり方」を追求していこうと考えています。その目指す理念につきましては、この「フェニックス」の末尾にご紹介している「患者さん中心に、心のこもった最適な医療の実践」など5つの理念であり、これをよい病院にするための基本にしたいと考えています。また、患者さんの人権を守るための原則として、「患者さんの権利」について病院の考え方を公表しました。これは、私たちが診療を行う際に、尊重し、心がけるべき基本的な原則であり、努力すべき目標でもあります。病院外来の待合いホール、外来や病棟のエレベーター入り口、病棟ナースステーションなどにも表示してありますので、どうぞご覧ください。

私たちの病院改善への取り組みが、成果をあげているのかどうか、常に外部の方々に評価していただく必要があります。その方法の一つとして、財団法人日本医療機能評価機構から、昨年末に病院のあらゆる機能について厳しいチェックを受けました。幸いにして、「精神科を含む病院の認定基準を満たしている」との認定を受けることができました。このような認定を受けている国立大学附属病院は当院を含めて現在5施設であります。

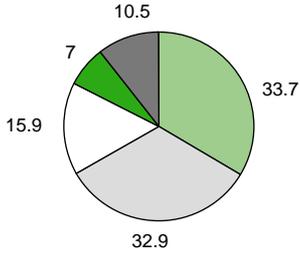
しかし、病院の外部評価で最も重要なのは、患者さんによる評価であります。その評価をどのような形でいただくか、よい方法を現在模索しています。その前に、みなさまが本院で経験された問題や苦情を解決するために1階外来ホールと各病棟に「投書箱」が設置してあります。「種々の苦情やご意見」がありましたら、遠慮なくお寄せ下さい。また、「医療事故などに関する疑問やご相談」がありましたら、医療安全相談室をおたずねください。「医療福祉に関する問題」は医療福祉相談室のソーシャルワーカーにご相談ください。

また、次頁以降でご報告しておりますとおり、外来を受診していただいた方々や入院中のみなさまに、病院の現状についてのアンケート調査を年二回行っています。最近の調査結果から、みなさまが不満に思っておられる一番の問題点が明らかになりました。それは、外来診察が始まるまでの待ち時間が長すぎるというご指摘です。早速この問題の解決を図るため特別チームを作り検討した結果、末頁のとおり再診について予約時間制を徹底することで、少しでも待ち時間を短くしたいと考えますので、みなさまのご理解と協力をよろしくお願い致します。

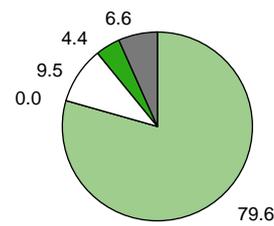
患者さんの満足度調査結果について(ご報告)

外来待ち時間調査結果(調査期間 平成15年6月2日～6月6日)

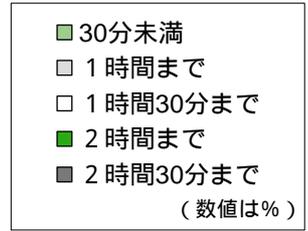
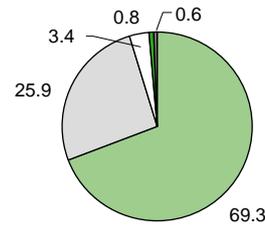
1、診察待ち時間



2、お薬待ち時間

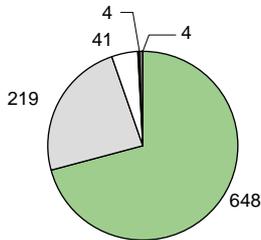


3、会計待ち時間

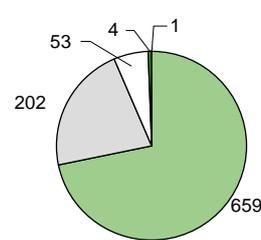


外来患者さんの満足度調査結果(調査期間 平成15年6月2日～6月6日)

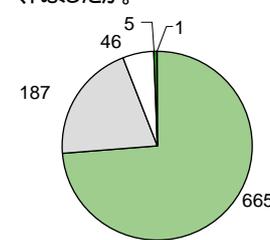
1、医師の説明はわかりやすく理解できるものでしたか。



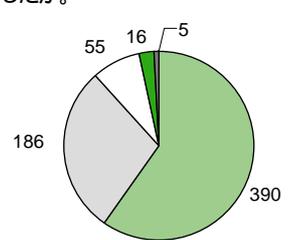
2、医師はあなたの病状について丁寧に聞いてくれましたか。



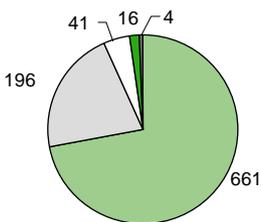
3、医師は治療に関するあなたの疑問点や相談をよく聞いてくれましたか。



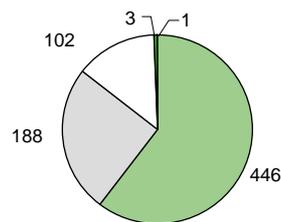
4、医師が行った注射・採血・処置等のやり方は満足できましたか。



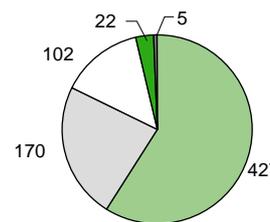
5、医師のあいさつ、言葉使い、態度はいかがでしたか。



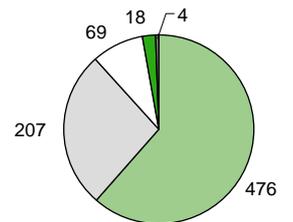
6、看護師の説明はわかりやすく理解できるものでしたか。



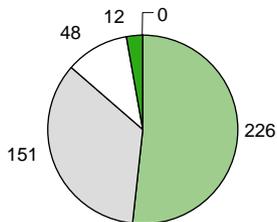
7、看護師への質問や相談はしやすかったですか。



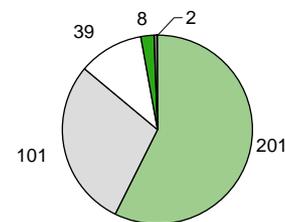
8、看護師のあいさつ、言葉使い、態度はいかがでしたか。



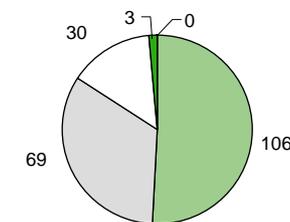
9、薬剤師のあいさつ、言葉使い、態度、薬の説明のわかりやすさはいかがでしたか。



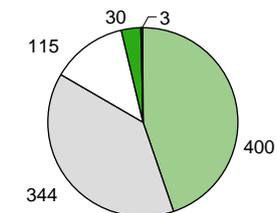
10、診療放射線技師のあいさつ、言葉使い、態度はいかがでしたか。



11、臨床検査技師のあいさつ、言葉使い、態度はいかがでしたか。

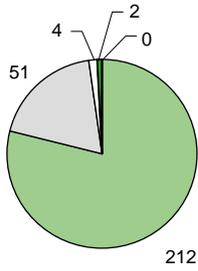


12、窓口職員、(総合案内、会計受付、検査部門等)のあいさつ、言葉使い、態度はいかがでしたか。

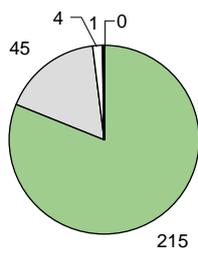


入院(退院)患者さんの満足度調査結果(調査期間 平成15年6月1日～6月30日)

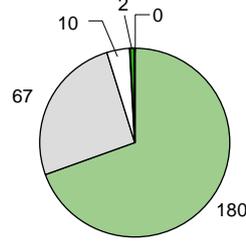
1、医師の説明はわかりやすく理解できるものでしたか。



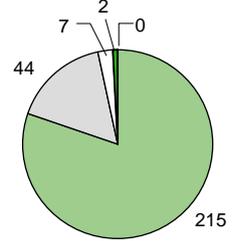
2、医師はあなたの病状について丁寧に聞いてくれましたか。



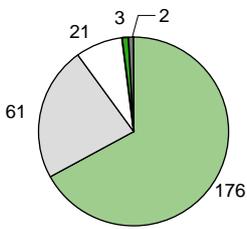
3、入院中の病状の変化を感じたとき医師の対応に満足できましたか。



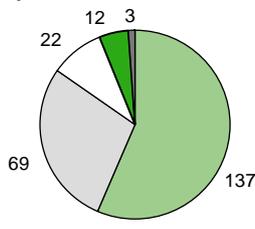
4、医師は治療に関するあなたの疑問点や相談をよく聞いてくれましたか。



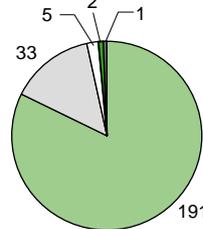
5、医師の行った治療の結果は期待どおり満足できましたか。



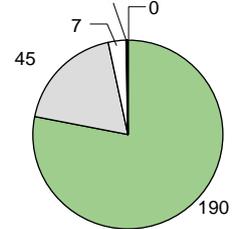
6、医師が行った注射・採血・処置等のやり方は満足できましたか。



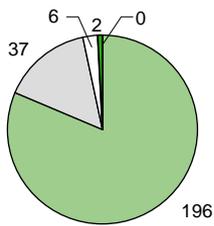
7、医師のあいさつ、言葉使い、態度はいかがでしたか。



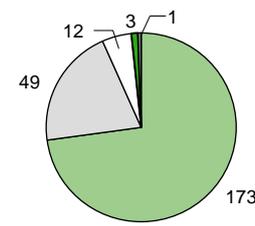
8、看護師の説明はわかりやすく理解できるものでしたか。



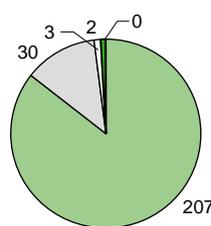
9、看護師への質問や相談はしやすかったですか。



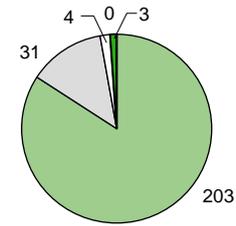
10、看護師が行った注射・採血・処置等のやり方は満足できましたか。



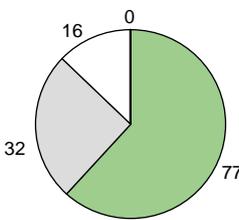
11、看護師は日常生活の上で親切に手助けしてくれましたか。



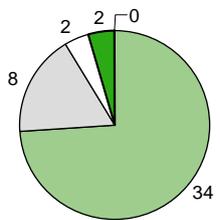
12、看護師のあいさつ、言葉使い、態度はいかがでしたか。



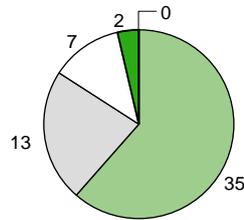
13、薬剤師の薬に対する説明はわかりやすく理解できるものでしたか。



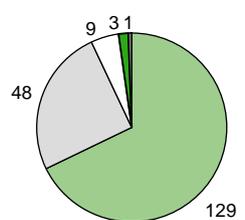
14、リハビリテーション部(理学・作業療法士)の指導・対応はいかがでしたか。



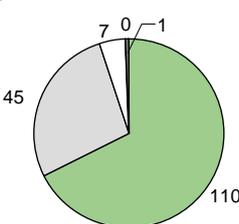
15、栄養士の説明はわかりやすく理解できるものでしたか。



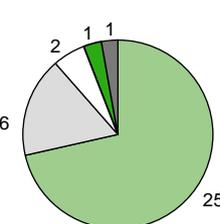
16、診療放射線技師のあいさつ、言葉使い、態度はいかがでしたか。



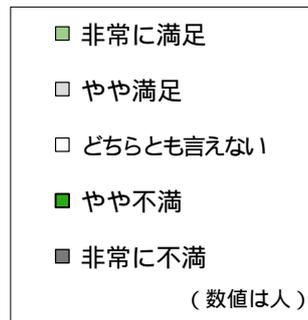
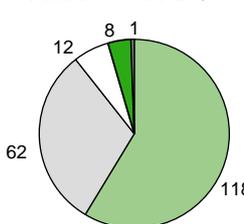
17、臨床検査技師のあいさつ、言葉使い、態度はいかがでしたか。



18、医療相談室(ソーシャルワーカー)の対応はいかがでしたか。



19、窓口職員(総合案内、会計、受付、検査部門等)のあいさつ、言葉使い、態度はいかがでしたか。



女性のライフサイクルに合わせた医療

産婦人科では大きく分けて4つの分野を担当しています。腫瘍、周産期、不妊と内分泌です。今回は周産期医療と内分泌、特に更年期医療を紹介します。

周産期医療は母体と胎児新生児の双方の診断及び治療を行う分野です。宮崎県の年間出生数は約1万1千人ですが、この中の約50人は不幸にも出生前あるいは出生後早期に亡くなっています。その原因の一つに、子宮内胎児発育障害があります。したがって子宮内胎児発育障害の早期発見と管理はとても重要です。早期発見のきっかけの一つに、"見た目"のお腹の大きさがあります。周囲の人から"お腹があまり目立たない"と言われた妊婦さんは要注意です。実際には妊娠16週を過ぎると、母子手帳に記載されている子宮底の長さは妊娠週数の数字とほぼ同様となりますので、これを満たさない時には詳しい検査が必要となります。また子宮内胎児発育障害の原因に内科的な病気が隠れていることも稀ではありません。以上のように子宮内胎児発育障害の早期発見に努め、母児双方の管理を行うことで不幸な出来事を減らすことができます。

内分泌分野では主にホルモンの異常により起こる病気を治療します。女性には月経がありますが、これは卵巣で作られる女性ホルモンと黄体ホルモンがうまく作用して起こる現象です。中高年になると卵巣の働きが悪くなり、ホルモンバランスが崩れ更年期障害が起きます。顔が急に火照ったりイライラしたりする症状が特徴です。更年期障害以外にもこれに似た症状の病気があるので、専門的な検査が必要になります。高脂血症や骨粗鬆症が起こってくる時期でもあり、動脈硬化や骨折の予防が重要な問題です。症状について詳しくお話を伺い必要な検査を行ったうえで、個人に応じた治療を行います。

産婦人科では、このような出産にまつわる問題や更年期婦人の問題にも取り組み、女性のライフサイクルに合わせた医療を行っています。

本院産婦人科の統計資料より

1、週数別生存率

(平成14年1月～15年11月)

週数	出生数	生存数	生存率(%)
22	3	2	67
23	5	5	100
24	12	12	100
25	4	4	100
26	7	7	100
27	6	6	100
28	3	3	100

2、体重別生存率

(平成14年1月～15年11月)

出生体重(g)	出生数	生存数	生存率(%)
400 - 500	3	1	33
500 - 600	8	8	100
600 - 700	8	8	100
700 - 800	13	13	100
800 - 900	10	10	100
900 - 1000	8	8	100

3、内分泌外来の疾患別内訳

(平成14年1月～平成14年12月)

疾患名	件数
卵巣機能不全	18
更年期障害	15
無排卵周期	7
無月経(原発)	1
無月経(続発)	3
早期閉経	2
遅発思春期	2
多のう胞卵巣症候群	2
骨粗鬆症	2
肥満症	2
うつ病	2
下垂体茎断裂症候群	1
Anorexia Nervosa	1
下垂体腺腫術後の性腺機能低下	1
多毛症	1
高プロラクチン血症	1

4、手術件数

(平成14年1月～平成14年12月)

疾患名	件数
広汎子宮全摘出術	20
準広汎子宮全摘出術	1
単純子宮全摘出術	19
単純子宮全摘出術+子宮付属器切除術	24
子宮付属器切除術/卵巣のう腫摘出術	29
円錐切除術	22
腹腔鏡下手術	21
膣式子宮全摘出術+膣壁形成術	9
子宮筋腫核出術	6
帝王切開術	124
その他	66
計	341

外来化学療法室のご紹介

外来化学療法室
化学療法看護認定看護師 北 園 舞 子

今年の4月、外来棟2階の放射線部の一角に「外来化学療法室」ができました。この部屋は、外来患者さんが点滴治療を快適に受けることができるようにと願って作られた外来専用の治療室です。壁一面の窓から光が差し、泰山木のきれいな花を眺めることができます。小さな部屋ですが、静かな環境でゆっくりリラックスしていただけるように、ベッドのほかにリクライニングチェアやソファも準備いたしました。治療中は部屋をパネルで仕切り、個室のように使用することもできます。眠られる方、液晶テレビを見たり音楽を



治療の様子

聴かれる方、お茶やおやつを召し上がってお話をしながら過ごされる方などさまざまです。

主治医の診察の際には、皆さん熱心に病状や治療内容などについて質問し、アドバイスを受けておられます。またここで使用する注射薬は、専任の薬剤師が無菌管理のもとで調製しておりますので、安全に提供することができます。

ここには化学療法看護認定看護師がいます。外来治療を受ける患者さんの受け持ち看護師のような存在です。この資格を持つ看護師は、全国に約20人、宮崎県では当院に1人しかいません。化学療法に関する専門的なトレーニングを受けていますので、お薬のこと、治療のこと、副作用のことやその対処の方法、日常生活で注意すること等について専門的な立場でご相談を受けることができます。ぜひ日頃の小さな疑問や、お困りのことをお聞かせください。

まだまだ始まったばかりの外来化学療法室ですが、医師、看護師、薬剤師、病院職員が協力して、よりよいサービスを提供できるように努力していきたいと考えています。



部屋の様子



再診の時間予約制を徹底いたします

本院では、待ち時間を短縮するため、再診の時間予約制を徹底することと致しましたので、下記の受診方法等について、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

記

再診について

1. 再診における診察の順番は、受付順ではなく、予約時間順を原則とします。予約時間の10分前までに受付を済ませて、各診療科の外来窓口にお出ください。
2. 予約をされずに来院された場合、予約日以外に来院された場合、また予約時間に遅れて来院された場合は、順番を後にさせていただくこともありますのでご了承ください。
3. 事前に採血、CT、MRI等の検査があることが分かっている場合は、来院時間を医師とご相談ください。
4. 予約日、予約時間の変更をご希望の方は、各科で定めた変更受付時間帯にお電話をいただくか、直接窓口にお申し出ください。（各科の電話での予約変更の受付時間は各科外来に表示）

初診について

5. 初診につきましては、従来どおり受付順となります。
（従来から初診も完全予約制をとっている精神科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科については、これまでどおり初診の電話での予約受付をいたします。）

開始時期について

6. 時間予約制を徹底した診察の開始時期は、平成16年1月5日とします。
ただし、診療科によっては、随時開始いたしますので、医師からその旨説明があった場合は、ご協力ください。

その他

7. ご気分の悪い方は、予約時間に関係なく各診療科の外来窓口にお申し出ください。
8. なるべく待ち時間を短縮できるよう病院全体として取り組みますが、その日の状況により、時間どおり診察できない場合もありますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

本院の理念

患者中心に、心のこもった最適な医療の実践
地域の人々の要求にこたえる医療の実践
先端医療の開発と提供
幅広い知識・確かな技術を備えた人間性豊かな医療人の育成
お互いを尊重し、力を合わせて医療に取り組み、働くことが楽しい病院づくり

編集事務

宮崎大学医学部附属病院 地域医療連携推進センター

〒889-1692 宮崎郡清武町大字木原5200

電話(0985)85-1892 FAX(0985)85-1893